

製品別比較表

2025 年 4 月改訂

商品名	ベニジピン塩酸塩錠 2mg「ツルハラ」	コニール錠 2
会社名	鶴原製薬株式会社	
薬価	10.40 円／1 錠	12.20 円／1 錠
薬効分類名	血管拡張剤／217	
組成	1 錠中ベニジピン塩酸塩 2mg 含有	
性状	黄色のフィルムコーティング錠 識別記号：E21 直径：約 6.1mm 厚さ：約 2.9mm 質量：約 80mg	黄色フィルムコーティング錠 直径：6.1mm 厚さ：3.1mm 重量：0.08g
添加物	乳糖水和物、 <u>トウモロコシデンプン</u> 、 <u>ポリビニルアルコール・アクリル酸・メタクリル酸メチル共重合体</u> 、黄色三二酸化鉄、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース 2910、マクロゴール 6000、酸化チタン、 <u>タルク</u> 、カルナウバロウ	黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ、酸化チタン、ステアリン酸マグネシウム、乳糖水和物、バレイショデンプン、ヒプロメロース（置換度タイプ：2910）、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、マクロゴール 6000
効能・効果	○高血圧症、腎実質性高血圧症 ○狭心症	
用法・用量	〈高血圧症、腎実質性高血圧症〉 通常、成人にはベニジピン塩酸塩として 1 日 1 回 2～4mg を朝食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、効果不十分な場合には、1 日 1 回 8mg まで増量することができる。ただし、重症高血圧症には 1 日 1 回 4～8mg を朝食後経口投与する。 〈狭心症〉 通常、成人にはベニジピン塩酸塩として 1 回 4mg を 1 日 2 回朝・夕食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	

溶出挙動の同等性(局方による溶出試験)

「含量が異なる経口固形剤の生物学的同等性試験ガイドライン」（平成 24 年 2 月 29 日改正 薬食審査発 0229 第 10 号）に従い、試験を実施した。
既承認ベニジピン塩酸塩錠 4mg を対照としたベニジピン塩酸塩錠 2mg「ツルハラ」の溶出挙動は同等であった。

